

令和3年3月10日
政策統括官付

成田国際空港の最新の屋内電子地図を公開 ～様々なアプリケーションと連携したサービスに活用可能～

国土交通省は、屋内外の位置情報を活用した様々な民間サービスの創出が図られることを目指し、国内最大の国際空港である成田国際空港の最新の屋内電子地図をG空間情報センター※1にて本日から公開します。

これにより、「誰でも」「自由に」「無料で」屋内地図をダウンロードすることができ、屋内ナビゲーションアプリの開発などが可能となります。※2

【取組の経緯】

国土交通省では、訪日外国人・高齢者・障害者を含む誰もが、屋内・屋外を問わずシームレスに目的地へ円滑に移動できる社会の実現を目指して、「高精度測位社会プロジェクト」を実施しています。

本プロジェクトでは、関係者の協力を得て屋内電子地図や屋内測位環境を整備し、その環境を活用した屋内外シームレスなバリアフリーナビゲーションサービス、災害時の情報共有サービス等の実証実験を実施するとともに、整備した屋内電子地図をG空間情報センターから公開してきました。

＜これまでの取組はこちら https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kokudoseisaku_tk1_000108.html>

今回、第3ターミナル本館2階増築部における商業施設等の追加を反映させた、成田国際空港の最新の屋内電子地図をG空間情報センターにて公開いたします。

これまで、本プロジェクトの成果を活用した民間事業者によるサービスが実装され始めています。今回の屋内電子地図を活用したサービスが創出されることを期待しています。

【今回公開する成田国際空港屋内地図】※別紙1参照

- ・国土地理院の標準仕様※3に基づき作成された、国内最大の国際空港の屋内地図。
- ・サービスの基盤となる屋内地図として、駅改札口から出国手続前までのターミナル各フロアについて、通路や階段、トイレ等のデータを整備。
- ・通路の段差や勾配等を含む屋内ネットワークデータも公開しており、段差を回避したバリアフリールートの検索等のサービスも開発可能。
- ・公開先 URL : <https://www.geospatial.jp/ckan/dataset/mlit-indoor-narita-airport-r2>

※1 G空間情報センター：官民間問わず様々な主体により整備・提供される多様な地理空間情報を集約し、利用者がワンストップで検索・ダウンロードし利用できる、産学官の地理空間情報を扱うプラットフォーム。(https://www.geospatial.jp/gp_front/)

※2 アプリの作成に際して調査などを行う場合は、施設管理者の許可が必要。

※3 「階層別屋内地理空間情報データ仕様書(案)」(平成30年3月)

〔問合せ先〕 不動産・建設経済局情報活用推進課 紙谷、大道

電話：(代表) 03-5253-8111(内線 29823、29825) / (直通) 03-5253-8353、FAX:03-5253-1569